

諏訪之瀬島の火山活動解説資料（平成 20 年 8 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方気象台

1 日及び 24 から 26 日に爆発的噴火¹⁾が発生し、小規模な噴火も時々発生しました。諏訪之瀬島ではこれまでも長期にわたり噴火を繰り返しています。

今後も、御岳（おたけ）火口から半径約 1km の範囲に弾道を描いて飛散する噴石が達する程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 8 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 2、図 3）

爆発的噴火¹⁾は 1 日と 24 日から 26 日に発生した（7 月：1 回）ほか、小規模な噴火が時々発生しました。十島村諏訪之瀬島出張所によると、集落（御岳の南南西約 4km）で 21 日に少量の降灰がありました。

噴煙の最高高度²⁾は 25 日の 1500m（7 月：1200m）でした。

・地震、微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の月回数は、A 型地震が 24 回（7 月：9 回）、B 型地震が 44 回（7 月：86 回）で、これまでと大きな変化はありませんでした。また、火山性微動の、月回数は 20 回（7 月：23 回）発生しました。火山性微動は 1 時間を超える火山性連続微動がほとんどで、継続時間合計は 92 時間 46 分（7 月：173 時間 52 分）でした。

- 1) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としています。
- 2) 2003 年 3 月 28 日以降、噴煙の最高高度は遠望監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告のうち高い値を用いています。

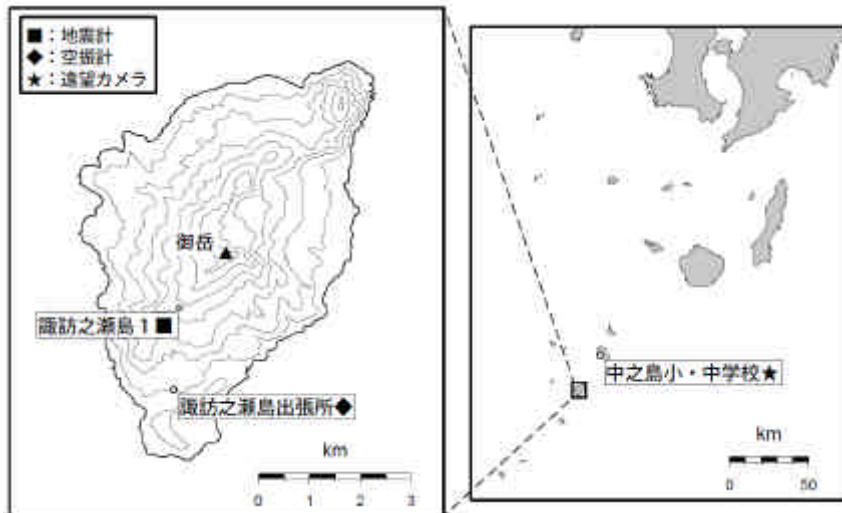


図 1 諏訪之瀬島 観測点配置図

地図の作成に当っては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 20 年 9 月分)は平成 20 年 10 月 7 日に発表予定です。

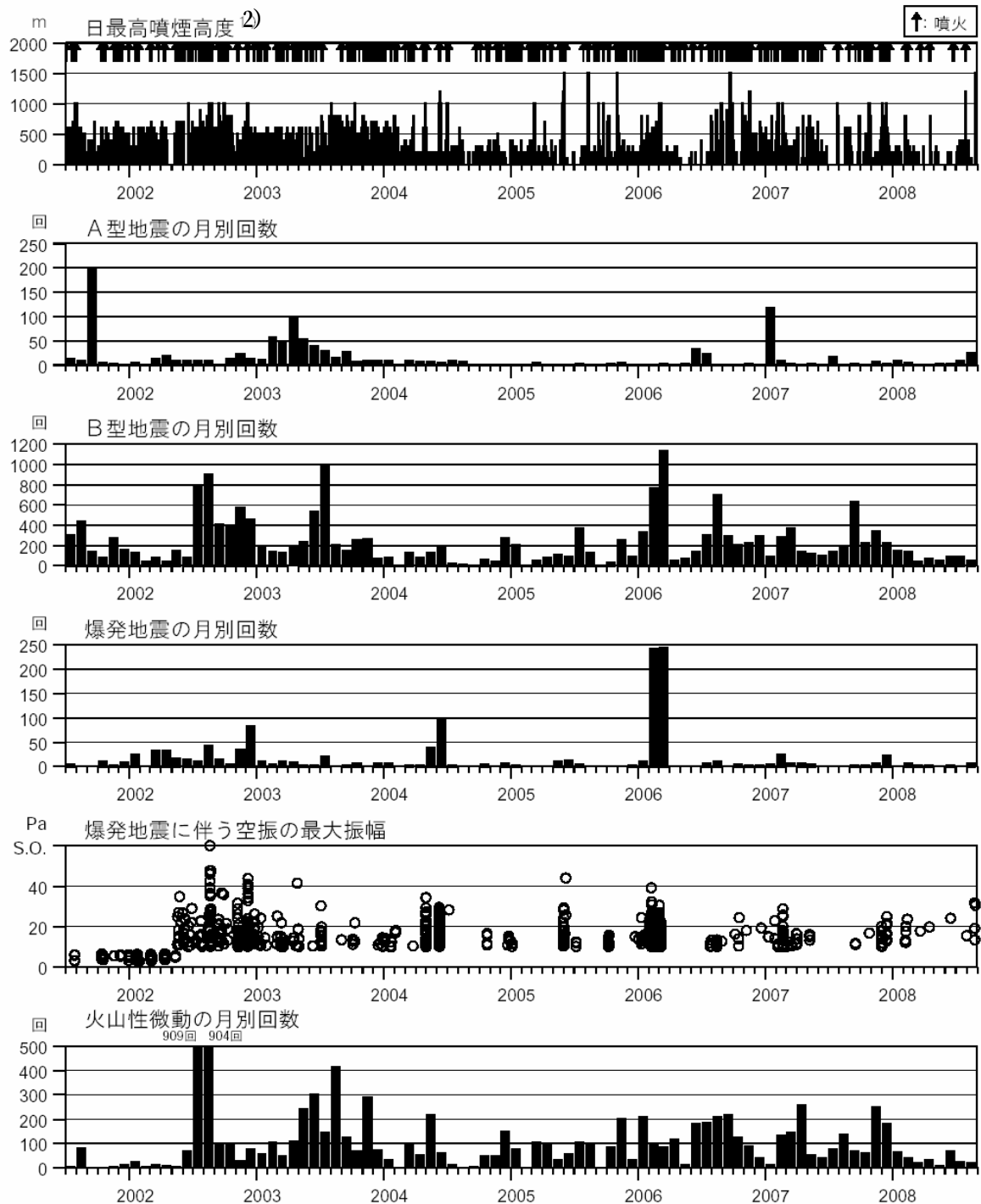


図2 諏訪之瀬島 火山活動経過図(2001年7月～2008年8月)

- ・爆発的噴火は1日と24日から26日に5回発生し、小規模な噴火も時々発生しました（7月：爆発的噴火1回、小規模な噴火2回）。
- ・噴煙の最高高度²⁾は25日の1500m（7月：1200m）でした。
- ・A型地震は24回（7月：9回）、B型地震は44回（7月：86回）でした。
- ・火山性微動は20回（7月：23回）でした。

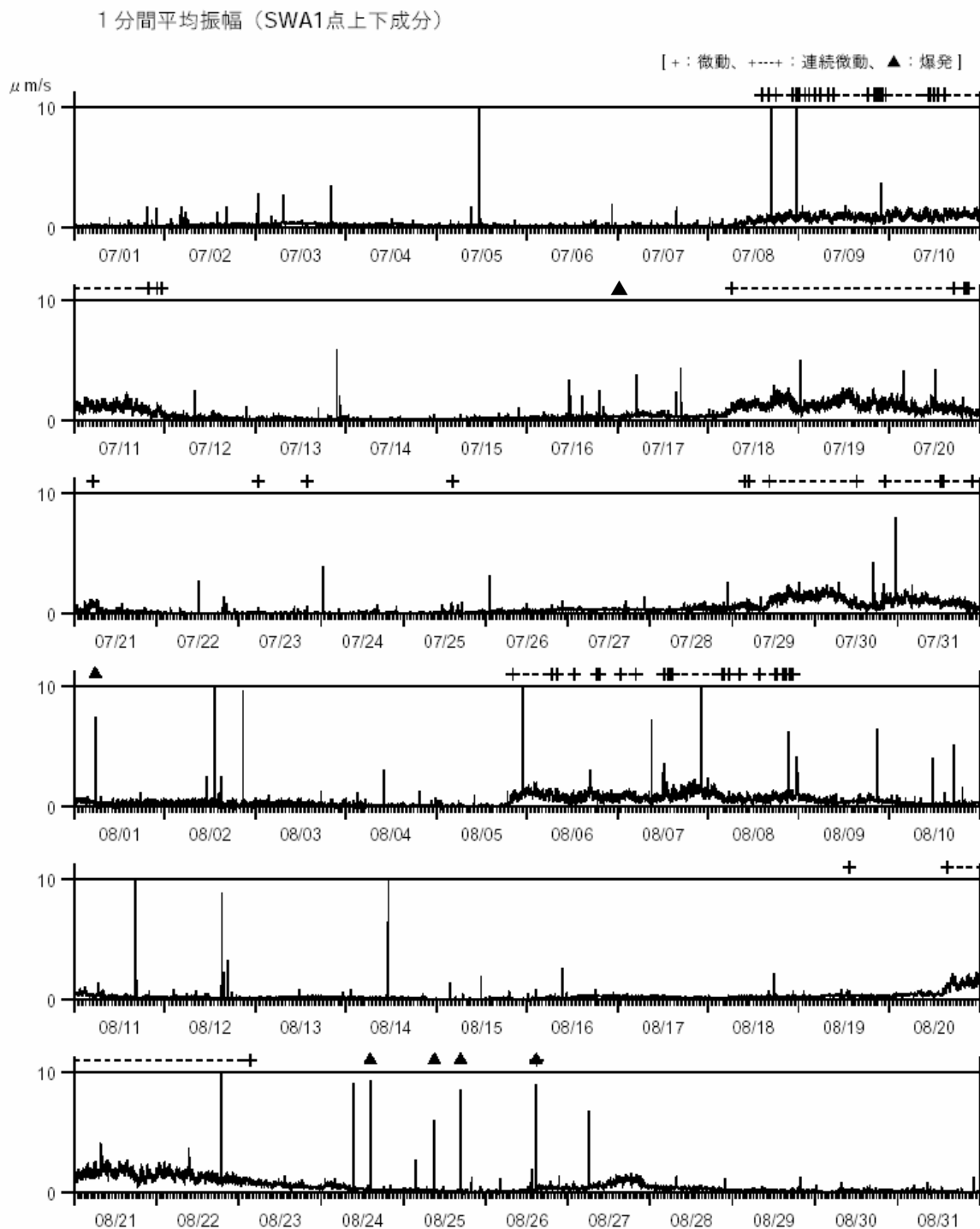


図3 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化（SWA1上下成分）（2008年7月～2008年8月）

- ・火山性微動の継続時間の月合計は、92時間46分（7月：173時間52分）で、そのほとんどは継続時間が1時間を超える火山性連続微動でした。